

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) **Б. А. Полянин 編 (1974):** 「Применение математических методов в исследовании рассеянных компонентов осадочных пород (堆積岩の分散元素成分研究への数学的方法の適用)」, カザン大学出版所, カザン, 119 p., 22×15 cm (露文)

目 次

- В. А. Полянин: 数学的处理を目的とした中生代団塊燐灰土の組織-構造分類 (表 4, 参 11) p. 3-13
А. Н. Диденко: Уральяновск-Саратф凹地北端地区中生層中の燐分布に対する構造要素の影響 (図 6, 表 24, 参 31) p. 14-51
А. Г. Низамутдинов: 堆積過程における地球化学的元素濃集特性の指標としての微量元素分布函数 (図 6, 表 7, 参 11) p. 52-73
А. И. Бахтин: 分散ハロー中の元素分布に対する堆積相要素と層位要素の影響について (表 6, 参 3) p. 74-79
В. Г. Изотов: Биэртук=Кам帯含銅堆積物堆積相関係の数学的モデル化の試み (図 2, 表 2, 参 18) p. 80-97
В. Г. Изотов: 分散銅含有率分布律に対するБиэртук=Кам帯カザン層堆積条件の影響について (図 1, 表 1, 参 23) p. 98-110
Ю. А. Огурцов, *et al.*: Кам河下流地域イリーチェフ砂利鉱床鉱層を構成する砂と礫の関係について (図 1, 表 1, 参 9) p. 111-114
Г. Г. Ахманов, *et al.*: 含水晶石英脈の探査に適した構造解明問題と関連する南ウラル古生代炭質岩分布についての問題によせて (参 4) p. 115-118

2) **А. А. Коноплянцев, С. М. Семенов (1974):** 「Прогноз и картирование режима грунтовых вод (地下水賦存条件の予測と図化)」, Нео-Дра出版所, Москва, 214 p., 図 52, 表 15, 参 97, 22×15 cm (露文), UDC: 556.3

目 次

第 1 章 地下水賦存条件の成因的規則性

1. 研究の現状
2. 広域規則性
3. 局地規則性
4. 河谷部にみられる地下水賦存条件の規則性
5. 水理地質学的予測と情報の組み立てに必要な地下水位の季節変動と長年変動の規則性の意義

第 2 章 地下水位変動の確率 - 統計的規則性

1. 地下水位変動の研究, 課題, 統計算法概説
2. 地下水位変動の研究と計算への数理統計法と確率論適用の原理的可能性
3. 地下水位とその変動幅の統計分布タイプ
4. 地下水位とその変動幅の統計分布数理モデル
5. 統計分布モデルの水理地質学的根拠
6. 実験曲線と理想曲線の一致と組み立て法の評価

第 3 章 広域予測図化と予測組み立ての基礎としての地下水賦存条件の同期性の研究

1. 地下水賦存条件同期性の研究の現状と課題
 2. 地下水賦存条件同期性の研究法
 3. 地下水の多年賦存条件の同期性指標によるヨーロッパ=ソ連の区分
- 第4章 地下水賦存条件予測への課題と要求
1. ソ連における地下水賦存条件予測事業の発展史, 方法の選択, 機関
 2. 地下水賦存条件予測の分類と予測への要求の分類
 3. 地下水賦存条件の系統的予測法
 4. 地下水賦存条件予測法の質的評価と正当性
- 第5章 地下水位条件予測法
1. 流体力学的予測法
 2. 統計確率論的予測法
 3. 観察データの調和級数解析にもとづく予測法
 4. 地下水バランス公式を適用した予測
 5. 類推法
- 第6章 地下水の季節的賦存条件予測法適用性の研究と正当性の解析
1. 夏-秋期における最小地下水位の予測
 2. 冬-初春期における最小地下水位の予測
 3. 春-夏期における最大地下水位の予測
- 第7章 小縮尺での地下水位情報の図化と地下水位条件の予測
1. 地下水賦存条件図化の研究の現状と課題
 2. 季節的な地下水賦存条件の特徴による地帯区分図
 3. 相対的指標としての地下水賦存条件図
 4. 地下水位変差図
- 第8章 統計的地下水賦存条件図
1. 図の使命と縮尺
 2. 確率-統計的地下水位深度図
 3. 確率-統計的地下水位変差図
 4. 確率-統計的地下水滲透涵養・蒸発図編纂の可能性
 5. 確率-統計的春季地下水位上昇日数図
- 第9章 短期間観測値の長期間転換法, 観測値欠落の復原法, 地下水の天然賦存条件再現法
1. 短期間観測の長期間転換
 2. 短期間地下水賦存条件観測の延長と少観測点による予測の組み立て
- まとめ

3) Ю. В. Комаров (1972): 「Мезозойский внегеосинклинальный магматизм западного Зейбайкалья (ザバイカル地方西部の中生代外地向斜性マグマ作用)」, ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 156 p., 図 31, 表 7, 付録 1, 参 207, 26×17 cm (露文), UDC: 552.3 (571.54)+551.76 (571.54)

目次

第1章 中生界層序とマグマ活動図式の概括

層序 マグマ活動図式

第2章 中生代の外地向斜性マグマ岩系

岩石化学的構成法 中生代前期構造階のマグマ岩系 中生代後期構造階のマグマ岩系

第3章 造山変動史

中生代前期 中生代後期

新着資料の紹介 (資料室)

第4章 外地向斜性 (中生代) マグマ作用と地向斜性 (カレドニア前期) マグマ作用の比較

優地向斜帯先逆転期マグマ岩系 地向斜発展造山期のマグマ岩系

第5章 ザバイカル地方西部の外地向斜性マグマ作用——自造山変動の反映

第6章 造山変動区の外地向斜性マグマ作用

まとめ ザバイカル地方西部中生代マグマ岩の平均化学成分

付録

4) С. С. Снеговской (1974): 「Исследования МОВ и тектоника южной части Охотского моря и прилегающей окраины Тихого океана (オホーツク海南部と隣接太平洋縁部の反射波法による研究と構造地質)」, ナウカ出版社シベリア支所, ノボシビルスク, 88 p., 図 36, 表 6, 参 136, 26 × 17 cm (露文), UDC: 550.834:550.311

目次

当該地域の堆積層構造と地質発達史に関する現在の概念

地殻上部の物理的性質と構成 地形と堆積過程 隣接陸域の地質

反射地震波研究法

実験研究 反射地震波の比較特性 測定法と精度

波動場の特徴

地震記象に記録された地震波のタイプ 反射波記象の特徴

探査水域地殻上部の構造と速度特性

反射地震波データによる地質コンプレックスの分類原則 南オホーツク深海盆 千島列島弧

地震記象データの地質学的解釈

地震波境界層面と2・3の地質発達特性 石油・天然ガス胚胎地域の展望に関する問題によせて

まとめ

5) ウズベク共和国科学アカデミー編 (1974): 「Металлогения и геохимия Узбекистана (ウズベク共和国のメタロジェニーと地球化学)」, ファン出版社, タシュケント, 188 p., 22 × 15 cm (露文)

目次

- Ф. И. Вольфсон: ドミトリー イヴァノヴィッチ シチュエルバコフ p. 3-11
- Н. Х. Баймухамедов, et al.: ギザール山脈南西部における貫入岩群と熱水鉍化作用の空間的關係の2・3の問題 (図 2, 参 8) p. 11-18
- В. И. Попов, et al.: フェルガナー地方のアルプス期水銀鉍床 (参 7) p. 18-23
- А. И. Попов, А. А. Попова: 中央アジアのアルプス期鉍床生成作用について (参 11) p. 23-27
- Ф. И. Вольфсон, В. В. Архангельская: 遠熱水鉛-亜鉛鉍床の分類と地質特性 (表 1, 参 12) p. 27-40
- К. Л. Бабаев: 錳鉍床の成因的 분류 (表 1, 参 13) p. 40-47
- А. И. Пак: 砂-粘土層風化殻中のウラン鉍床の後生累帯と成因 (図 1, 参 9) p. 48-53
- С. Т. Бадалов, А. С. Поваренных: 硫砒鉄鉍の微量成分 (表 1, 参 12) p. 53-56
- В. А. Паздзерский: コクパタス鉍床田ユーージュノエ金・硫化物鉍床における金鉍化位置の規則性 (図 2, 表 2, 参 5) p. 57-61
- В. А. Хорват, et al.: ウズベク地方西部チャルミタン鉍床周辺の交代岩 (図 2, 表 3, 参 13) p. 61-68
- Л. А. Николаева, Р. П. Бадалова: 予測・探査・評価作業に際しての金のタイポモーフの研究 (参 15) p. 69-73
- В. И. Кусевич, Н. А. Никифоров: キルギス地方水銀鉍床における表成変質 (図 1, 表 6) p. 73-77
- Е. З. Мещанинов, Г. С. Мещанинова: ウズベク共和国アルマルィク区アクトゥルラク金鉍床周辺交代岩の特徴 (図 1, 表 2, 参 9) p. 78-83

- П. В. Панкратьев, Ю. В. Михайлова: デグレピテーション資料にもとづくウズベク地方南部多金属鉱床生成作用の温度条件 (図 1, 表 1, 参 5) p. 83-87
- И. М. Исамухамедов, М. Х. Кадыров: 天山山脈西方オクラミンスキー山脈中部の C₂-T₁ 火山岩の副成鉱物について (表 6, 参 12) p. 88-95
- М. Р. Еникеев: タジク共和国アルトイン=トプカン 鉱床生成域の灰重石鉱化作用の成因タイプ (参 4) p. 95-97
- А. К. Воронков, et al.: 中部クイズィルクム地方原生代赤色岩の鉱物学的-地球化学的特徴 (図 2, 参 5) p. 97-101
- Л. Н. Котляревский: 貫入岩の帯磁性と珪酸含有率との相関性 (図 2, 表 1, 参 6) p. 101-105
- Д. М. Сургутанова: カラクチャタウ山ランドヴェリ川上流のプラト・ブラック周期的堆積層の相特性 (図 4, 参 7) p. 105-109
- Р. М. Талипов, et al.: マルマルィク区での生物地球化学的研究の結果 (表 1) p. 109-113
- Е. Н. Окулов: 稀少金属ベグマタイトとアンチモン鉱化作用の関係について (図 1, 表 1) p. 113-115
- Б. Б. Василевский, А. Туресебеков: アルマルィク地区カラハン多金属鉱床主要構成元素の地球化学的研究によせて (表 3, 参 4) p. 116-119
- В. Б. Шувалов: 稀少金属グライゼン鉱床生成作用中での交代過程の役割について (表 3, 参 8) p. 119-123
- С. Я. Клемперт, et al.: キルギス共和国アンダグル鉱床の輝蒼鉛鉱化作用について (図 1, 表 5) p. 123-127
- Д. С. Канаш: ウズベク共和国ナウガルザン川・カンドィル川間地域粗面安山岩-石英安山岩岩系の地球化学的特徴 (表 1, 参 8) p. 127-130
- А. А. Колдаев, et al.: 西ウズベク地方ペリタウ地区はんれい岩類風化殻産のバイデライト (図 2, 参 5) p. 130-133
- А. В. Покровский: 古生代変動帯中の変成源鉱床生成作用の幾つの特徴 (表 2, 参 16) p. 133-141
- И. М. Голованов, А. Я. Гадаев: ウズベク共和国チャトカル=クラミンスキー山群アルマルィクおよびテケリー閃長岩-閃緑岩貫入岩の金属成分と造岩成分 (表 5, 参 9) p. 141-148
- Р. А. Мусин, Ш. Султанмуратов: 中部天山地方フェルガナー=クラミンスキー帯の水銀とアンチモンの鉱徴条件について (参 21) p. 148-154
- М. И. Исмаилов: ウズベク共和国の 2・3 のスカルン鉱床の共生輝石・ざくろ石 (図 3, 表 2, 参 7) p. 154-158
- М. С. Кучукова, et al.: カラチューベ山群マグマ分化岩脈と後マグマ性生成体の分布規則性 (図 4, 表 1, 参 9) p. 159-167
- П. М. Анкудович, А. Н. Росеева: ウズベク共和国クラミンスキー亜帯交代岩中の金の分布について (図 2, 表 1, 参 4) p. 167-172
- А. Е. Антонов: チャトカル=クラミンスキー山群構造要素の 1 重要タイプについて (図 2, 参 8) p. 173-177

6) А. Н. Дударев (1975): 「Анализ геолого-Физических условий эндогенного рудообразования (内因性鉱床の地質学的-物理学的生成条件の解析)」, ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 179 p., 図 31, 表 68, 参 278, 26×17 cm (露文), UDC: 552.1:551.2:553

目次

第1章 岩石物理学的研究と熱物理学的研究の現状

熱量移動の研究

岩石の熱的性質の研究

熱量交換に関する研究と内因性地質学の概括

第2章 研究法

質量容量の性質
岩石の熱的特性
結果の処理と解析

第3章 内因性過程における岩石の物理的性質の変化

広域変成作用と変成源花崗岩化作用時における岩石の物理的性質
接触変成作用域の岩石の物理的性質
後マグマ作用過程における岩石の物理的性質の進化
主要生成系列での内因性岩石の物理的性質変化の傾向

第4章 エネルギー指標による地質系の研究

地質エネルギー研究の概括
エネルギー特性の測定法と解釈
地質構造解析の具体例. 広域変成作用生成体のエネルギー特性
接触変成岩のエネルギー特性
後マグマ作用生成体のエネルギー解析

第5章 天然熱物理学構造とその発達特性

複合物質の熱物理学的特性に関するデータの概括
内因性起源地質体の熱物理学的要素
熱物理学的要素と構成の実験研究. 2・3 の地質体モデルの熱交換構造
多孔質濾過系の加熱条件
岩石の物質再編と物理的改編に対する熱勾配条件の影響
加熱による岩石孔隙率の変化
水溶液と岩石物質の熱による易動性

第6章 岩石の物理的, エネルギー的, 熱力学的特性の総合解析と地質学への応用

内因性地質過程の熱バランス
内因性地質過程の持続時間の評価
交代作用帯における熱力学的流体良導体の形成
複合地質体の総合的熱物理解析例
岩石の比熱容と交代作用過程における岩石の活性

第7章 新岩石物理資料処理法と地質媒体中での熱量交換過程のモデル化

岩石物理資料表現法. 数字による岩石物理マトリックス
物理学的指標による地質体の類型化
地質体と地質作用のモデルによる熱量移動の研究

まとめ

7) ソ連地質省編 (1973): 「Металлогения и новая глобальная тектоника (メタロジェニーと新グローバル構造論)」, レニングラード, 157 p., 27×18 cm (露文)

目次

A. A. Ковалев: 新グローバル地質構造論とメタロジェニー	p. 4-10
П. Н. Кропоткин: 流動論の現状	p. 10
В. И. Смирнов: ペニオフ帯と地向斜性メタロジェニー	p. 10-11
С. Н. Иванов: 新構造地質原理によるメタロジェニー	p. 11-15
Ю. Ф. Чемяков: 新グローバル構造論による地体構造分類とメタロジェニー解析へのその意義 (表 1)	p. 15-20
С. С. Шульц: グローバル地体構造と鉱床予測 (図 1, 表 1)	p. 20-26

- Л. П. Зоненшайн, *et al.*: 地質構造 - マグマ活動累帯性, 内因性メタロジェニー, プレートテクトニクス (図 2) p. 26-30
- В. М. Моралев: 古期卓状地のメタロジェニー解析に適用したプレートテクトニクス p. 30-32
- Н. Я. Кунин: 新グローバル地体構造論の理論的基礎の発展と大陸でのその現象の解明 p. 32-33
- В. Е. Ханн: 新グローバル地体構造論——現状と未解決の問題 p. 33-35
- В. И. Драгунов: 非系統性と系統性の関係からみた地体構造要素 p. 36-39
- В. И. Васильев: 地球の構造と岩圏プレート (表 1) p. 39-45
- Э. И. Кутырев: 古構造の復原によるグローバルメタロジェニー (表 2) p. 45-50
- М. И. Розинов, Л. Е. Шолпо: 広域メタロジェニー研究への古磁気復元適用の試み p. 50-51
- Д. В. Рундквист: 地殻進化過程での惑星規模メタロジェニー累帯の形成 (図 3) p. 52-60
- В. Е. Попов, Е. В. Альперович: 大陸地殻の進化過程における変動帯の形成と構造のタイプ p. 60-61
- Ю. В. Казицын, *et al.*: 交代作用とグローバル地体構造 (表 1) p. 61-65
- В. М. Немцович: マグマ作用の進化とグローバル地体構造 p. 66-68
- А. А. Смыслов, У. И. Моисеенко: 地殻の熱流量の不均等性とグローバル地体構造の問題 (図 1, 表 1) p. 68-73
- Л. М. Плотников: 地殻の力学的応力場の不均等性と内因性鉱床分布の規則性 p. 73-75
- В. Н. Ларин: 地球水酸化物始源説に照したテクトジェネシスの内部原因 p. 76-77
- И. В. Круть: 地体構造系のジェラーヒー p. 77-80
- А. А. Ковалев, Ю. В. Карякин: プレート=テクトニクスの概念にもとづくザйсан褶曲系の地殻の進化とメタロジェニーの幾つかの問題 (図 1) p. 81-85
- Д. И. Мусатов, Ю. М. Мальцев: プレート=テクトニクスに照した南シベリア褶曲区の地質発達史とメタロジェニーの特徴 p. 85-89
- Д. И. Мусатов: 岩圏プレートの相互作用の結果としてのエニセイ=トウルハン変動帯の発達とそのメタロジェニー p. 89-91
- В. Д. Дмитриев, *et al.*: コリャク=カムチャツカ地方の地質構造の特徴とそのメタロジェニー規制 p. 92-93
- Т. В. Тарасенко, *et al.*: コリャク高原とカムチャツカ半島のメガ地塊とメタロジェニー累帯 p. 93-95
- В. И. Казанский, *et al.*: アンデス山脈のメタロジェニー累帯とプレートテクトニクス p. 95-97
- А. В. Мишина, *et al.*: 東南アジアのマグマ作用とメタロジェニーの側累帯性およびそのベニオフ帯との関係 p. 98-100
- И. К. Волчанская: 推定プレート境界としてのアラスカにおけるアンカレッジ=プラドール湾流動帯 (図 2) p. 100-103
- В. А. Унксов: アフリカの中生代-新生代メタロジェニーとプレートテクトニクス p. 103-107
- В. В. Козлов, Е. Л. Сулиди-Кондратьев: プレートテクトニクスと西地中海マグマ作用・メタロジェニーの累帯性 p. 107-108
- В. А. Кузнецов: グローバルテクトニクスの要素と水銀鉱床分布のもっとも重要な規則性 p. 109-110
- В. И. Бергер: 変動域のアンチモン・水銀鉱化作用の進化 (表 1) p. 110-115
- С. В. Москалева: 超塩基性岩のリフトジェネシスとメタロジェニー (図 1) p. 115-120
- М. В. Денисова: グローバルテクトニクスに照した大型および巨大硫化銅・ニッケル鉱床の生成分布規則性 p. 120-121
- С. Е. Колотухина: 南半球古卓状地の稀少金属鉱床生成区 p. 121-122
- Ю. А. Ходак: グローバルテクトニクスと鉄マンガン団塊の生成 p. 122-123
- Е. А. Басков: 地球岩圏プレート接合帯における現世熱水過程の特徴 p. 123-126

新着資料の紹介 (資料室)

- Л. Э. Левин: 水域の石油・天然ガス胚胎堆積層生成史の特徴と岩圈進化に関する近代概念 p. 126-127
Н. Я. Кунин: 新グローバル=テクトニクスと石油・天然ガス胚胎性の問題 p. 127-128
И. П. Лаврушко: 新グローバル=テクトニクスの概念と石油地質 p. 129-130
Ф. И. Хатьянов: ロシア楕状地東部の古リフトとトランスフォーム微小断層 p. 130-132
М. А. Фаворская, И. Н. Томсон: 鉱床規制構造分布のグローバルな規則性 (図 1) p. 133-136
В. А. Баскина: 鉱床規制帯のマグマ作用 p. 136-138
М. И. Ициксон: 太平洋セグメントの惑星規模のメタロジェニー系 (図 1) p. 138-141
Е. А. Радкевин: 太平洋帯のメタロジェニーに照したグローバル テクトニクス p. 142-144
Г. Н. Щерба: ジオテクトノジェネシスと鉱床 p. 144-147
Ф. Я. Корытов: 海洋をとりまく鉱床生成帯について p. 147-148
В. В. Соловьев: グローバル テクトニクスとメタロジェニーの概要に関連した中央型構造形態 (図 2) p. 148-152
Н. Г. Чижова: 環状構造形態と内因性鉱床賦存位置へのその役割 p. 152-155

8) В. В. Гордиенко (1975): 「Тепловые аномалии геосинклиналей (地角斜の熱流量異常)」, Наукова Думка出版社, キエフ, 141 p., 図 25, 表 28, 参 238, 22×15 cm (露文), UDC: 551.4

目次

序論

- 問題の設定 地角斜の定義 熱流量の測定 利用計算機
地角斜の熱場の研究状況
2・3の地角斜の地質学的特徴と熱流量 地角斜の熱流量異常解釈の試み 地角斜の熱流量異常の定義 熱流量異常の分類
後背熱流量値と深部温度の決定
岩石中の放射性熱の発生 後背熱流量値の計算 温度後背値の決定
地角斜の熱流量異常の記載
温度異常 熱流量異常
熱流量異常解釈システムの開発
地角斜の熱流量異常源の推定パラメータ 熱流量異常源のモデルの選択 解釈システム
熱流量異常の解釈
第1群の解釈 第2群の解釈 熱流量異常源のパラメータ
熱流量異常源, マントル中の諸過程, 地角斜のテクトニクス
地角斜仮説 熱源と地角斜仮説に関する2・3の一般的批判 地角斜輪廻の第1段階とマントル中の諸過程 地角斜輪廻の第2段階とマントル中の諸過程 地角斜の熱進化史とテクトニクス
主な成果と今後の研究課題

9) В. С. Шарфман, Р. И. Костина (1974): 「Структуры кислых вулканитов (酸性火山岩類の岩石組織)」, Москва大学出版社, Москва, 112 p., 写真 82, 表 1, 参 22, 22×15 cm (露文), UDC: 552.122

目次

- 岩石構造・組織用語集
火山岩岩石組織の成因問題と分類原則
組織の多様性の原因
斑状組織と無斑晶組織
岩石構造
脱ガラス作用・再結晶作用と2次組織形成へのその役割

一次組織に対する分類と重複命名について

主要組織型式

潜晶 - 微粒状型組織

マイクロライト - 粒状型組織

ポイキリティック型組織

球顆状型組織

サブボルカニック岩・火道岩に特有の諸組織

母岩源包有体

10) В. Б. Нейман (1974): 「Теория и методика палеотектонического анализа (古地質構造解析の理論と方法)」, Недра出版社, Москва, 79 p., 図 32, 表 5, 参 81, 22×15 cm (露文), UDC: 551.248.2

目 次

第 1 部 古地質構造解析の理論的基礎と方法論的基礎

第 1 章 古地質構造解析の理論的基礎

第 2 章 古地質構造解析法

1. 等層厚線図とその組立法
2. 広域古地理図, 古地質構造図, 古地体構造図
3. 古地体構造断面
4. 古地体構造組立ての時代の役割
5. 古地体構造グラフ

ウォーピング値・速度グラフ フォーメーション = グラフ 脈動過程グラフ 総
合特性グラフ 構造継承係数

第 2 部 古構造地質解析法の適用

第 3 章 卓状地構造形成作用の問題

1. 広域卓状地構造形成の諸問題
2. 局地卓状地ライズの成因について

第 4 章 古構造地質解析応用の特殊例

1. 層序解析の古構造地質規準
2. 削剝形態の古構造地質規準
3. 炭化水素移動の研究への古構造地質解析法の適用